
学校施設等長寿命化計画

【概要版】

令和3年3月

おいらせ町 教育委員会 学務課

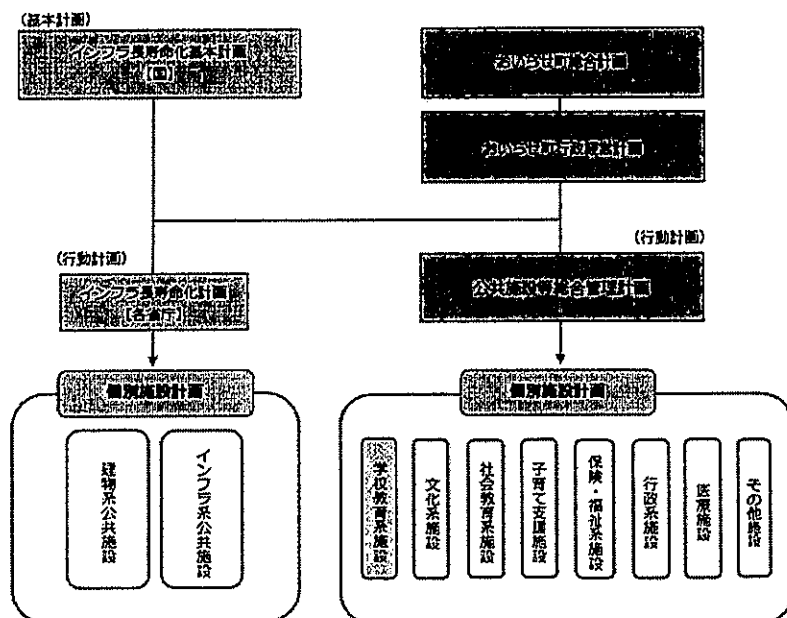
1. 計画の概要

(1) 計画の目的

本計画は、「個別施設計画」のひとつで、学校教育施設の今後について、計画的かつ全庁的なマネジメントに取り組むために、学校教育施設の現状と課題を整理し、今後の方向性等を検討して、各施設の具体的な対応方針を定める計画として策定するものです。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、「おいらせ町公共施設等総合管理計画」の下位計画として、国のインフラ長寿命化基本計画の体系における「個別施設計画」として位置づけます。



(3) 計画期間

本計画は、上位計画である「おいらせ町公共施設等総合管理計画」の最終年度（2046年度）に合わせ、26年間とします。

(4) 対象施設

本計画の対象施設は、学務課が所管する学校教育施設の9施設（28棟）とします。

施設分類	施設名	建物数
学校教育施設	百石小学校	2棟
	甲洋小学校	2棟
	下田小学校（教職員住宅を含む）	4棟
	木内々小学校	2棟
	木ノ下小学校	5棟
	百石中学校	4棟
	下田中学校	2棟
	木ノ下中学校（教職員住宅を含む）	6棟
	給食センター	1棟
合計	28棟	

<対象施設一覧>

基準 2020

施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数
		学校種別	建物用途				西暦	和暦	
百石小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	3,957	1993	H5	27
百石小学校	講堂	小学校	体育館	RC	2	1,166	1995	H7	25
甲洋小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	3,311	1988	S63	32
甲洋小学校	講堂	小学校	体育館	RC	2	853	1990	H2	30
下田小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	2,094	1985	S60	35
下田小学校	講堂	小学校	体育館	RC	1	711	1988	S63	32
下田小学校	校長住宅	小学校	寄宿舎	木	2	103	1991	H3	29
下田小学校	教員住宅	小学校	寄宿舎	木	1	50	1994	H6	26
木内々小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	2,921	1981	S56	39
木内々小学校	講堂	小学校	体育館	RC	1	834	1982	S57	38
木ノ下小学校	校舎(第1期)	小学校	校舎	RC	3	3,448	1991	H3	29
木ノ下小学校	第1体育館	小学校	体育館	RC	1	824	1991	H3	29
木ノ下小学校	校舎(第2期)	小学校	校舎	RC	3	791	2000	H12	20
木ノ下小学校	校舎(第3期)	小学校	校舎	RC	3	1,768	2005	H17	15
木ノ下小学校	第2体育館	小学校	体育館	S	2	1,424	2013	H25	7
百石中学校	校舎1	中学校	校舎	RC	3	2,484	2010	H22	10
百石中学校	校舎2	中学校	校舎	RC	3	621	2010	H22	10
百石中学校	校舎3	中学校	校舎	RC	3	1,692	2010	H22	10
百石中学校	講堂	中学校	体育館	RC	2	1,496	2018	H30	2
下田中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	4,045	2003	H15	17
下田中学校	講堂	中学校	体育館	S	2	1,474	2012	H24	8
木ノ下中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	3,814	1999	H11	21
木ノ下中学校	講堂	中学校	体育館	RC	1	816	1979	S54	41
木ノ下中学校	教員住宅(A)	中学校	寄宿舎	木	1	50	1992	H4	28
木ノ下中学校	教員住宅(B)	中学校	寄宿舎	木	1	50	1992	H4	28
木ノ下中学校	教員住宅(C)	中学校	寄宿舎	木	1	50	1993	H5	27
木ノ下中学校	教員住宅(D)	中学校	寄宿舎	木	1	50	1993	H5	27
給食センター	給食センター	給食センター	給食センター	S	2	1,759	2017	H29	3

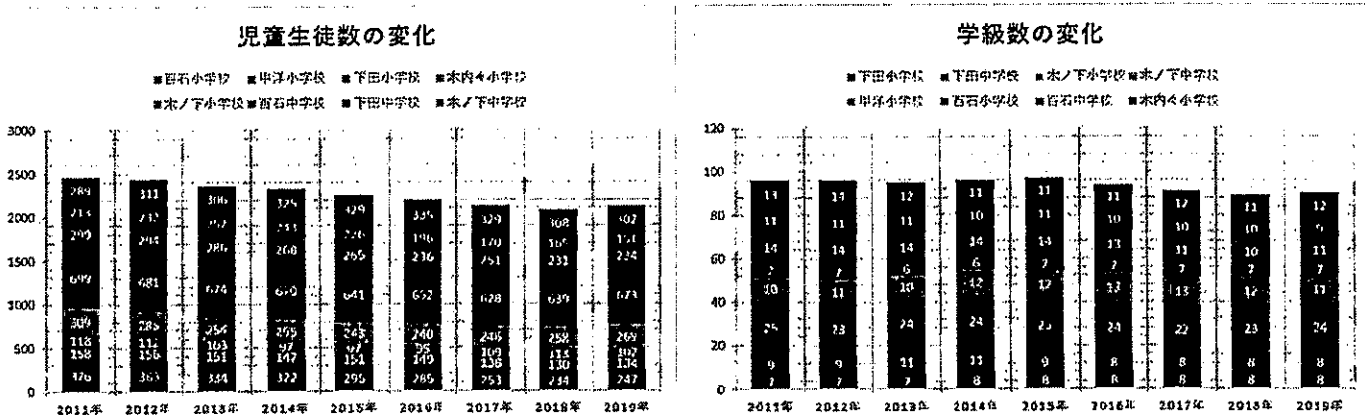
2. 目指すべき姿

本町の学校教育施設は現状として、築20年以上経過し老朽化が進んでいる施設や機能が低下している施設が多く存在しています。児童生徒が安心して学習ができる環境を整えるため、老朽化した施設の改築や防災機能の強化や、社会状況の変化に沿った、多様な学習内容に対応できる学校設備の整理と施設の長寿命化を計画する必要があります。

3. 施設の実態

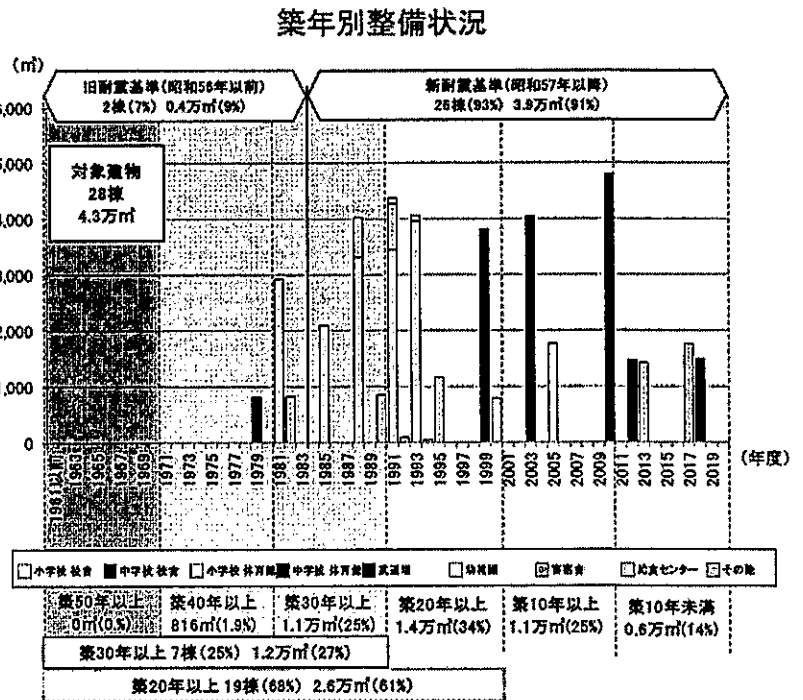
(1) 児童生徒数・学級数の推移

全国的に人口減少が問題となっている中で当町は稀な状況で、生徒数は減少傾向ではあるものの、ほぼ横這い状態です。学級数も生徒数に応じ、どの学校もほぼ変わらない状況が続いています。



(2) 築年別整備状況

本計画の対象施設のうち築30年を越えている建物は25%です。比較的新しい建物が多いですが、施設の維持・管理コストの平準化を図るためにも、優先順位を決めた上で順に長寿命化改修を行う必要があります。



(3) 老朽化状況

本計画の対象施設について、現地劣化現況調査着手前に各施設の資料収集と机上調査を行い、事前に施設概要を整理し、把握した上で現地での劣化状況調査（目視調査）を実施しました。各施設の老朽化状況は以下の通りとなりました。

基準 2020 ■: 築50年以上 ■: 築30年以上 A: 概ね良好 C: 広範囲に劣化
B: 部分的に劣化 D: 早急に対応する必要がある

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		構造躯体の健全性				劣化状況評価				劣化率 (%)				
					学校種別	建物用途				西暦	和暦	築年数	耐震安全性		長寿命化対応		躯体劣化	劣化状況	劣化状況		劣化状況			
													耐震等級	耐震補強	耐震等級	長寿命化								
1	1590	真石小学校	校舎	008	小学校	校舎	RC	3	3,567	1993	H5	27	新				長寿命	C	C	C	B	B	9	
2	1590	真石小学校	講堂	011	小学校	体育館	RC	2	1,166	1995	H7	25	新				長寿命	B	C	C	B	B	2	
3	1591	早津小学校	校舎	007	小学校	校舎	RC	3	3,311	1988	S63	32	新				長寿命	C	C	C	B	B	5	
4	1591	早津小学校	講堂	010	小学校	体育館	RC	2	863	1990	H2	30	新				長寿命	C	C	C	B	B	9	
5	1720	下田小学校	校舎	014	小学校	校舎	RC	3	2,064	1985	S80	35	新				長寿命	C	C	C	B	B	9	
6	1720	下田小学校	講堂	015	小学校	体育館	RC	1	711	1988	S63	32	新				長寿命	C	B	B	B	B		
7	1720	下田小学校	校長住宅	011	小学校	寄宿舎	木	2	103	1991	H3	29	新				長寿命	C	B	B	B	B		
8	1720	下田小学校	教員住宅	017	小学校	寄宿舎	木	1	80	1994	H6	26	新				長寿命	C	B	B	B	B		
9	1721	木内々小学校	校舎	010	小学校	校舎	RC	3	2,921	1981	S56	39	旧	修	済	2007	36.9	長寿命	C	B	C	B	B	9
10	1721	木内々小学校	講堂	013	小学校	体育館	RC	1	834	1982	S57	38	新				長寿命	C	C	C	B	B	9	
11	1722	木ノ下小学校	校舎(第1期)	017	小学校	校舎	RC	3	3,448	1991	H3	29	新				長寿命	C	C	C	B	B	9	
12	1722	木ノ下小学校	第1体育館	022	小学校	体育館	RC	1	824	1991	H3	29	新				長寿命	B	B	C	B	B	2	
13	1722	木ノ下小学校	校舎(第2期)	027	小学校	校舎	RC	3	791	2000	H12	20	新				長寿命	B	C	B	A	A		
14	1722	木ノ下小学校	校舎(第3期)	029	小学校	校舎	RC	3	1,768	2005	H17	15	新				長寿命	C	C	C	A	A	5	
15	1722	木ノ下小学校	第2体育館	030	小学校	体育館	S	2	1,424	2013	H25	7	新				長寿命	B	C	B	A	A		
16	4340	真石中学校	校舎1	024	中学校	校舎	RC	3	2,484	2010	H22	10	新				長寿命	C	C	B	A	A		
17	4340	真石中学校	校舎2	025	中学校	校舎	RC	3	621	2010	H22	10	新				長寿命	C	B	B	A	A		
18	4340	真石中学校	校舎3	026	中学校	校舎	RC	3	1,892	2010	H22	10	新				長寿命	C	B	A	A	B		
19	4340	真石中学校	講堂	030	中学校	体育館	RC	2	1,466	2018	H30	2	新				長寿命	B	C	A	A	A		
20	4430	下田中学校	校舎	020	中学校	校舎	RC	3	4,045	2003	H15	17	新				長寿命	C	C	C	A	B	2	
21	4430	下田中学校	講堂	027	中学校	体育館	S	2	1,474	2012	H24	8	新				長寿命	A	B	A	A	A		
22	4431	木ノ下中学校	校舎	026	中学校	校舎	RC	3	3,814	1999	H11	21	新				長寿命	C	C	C	B	B	9	
23	4431	木ノ下中学校	講堂	005	中学校	体育館	RC	1	816	1979	S54	41	旧	修	済	2007	31.4	長寿命	C	C	C	C	C	0
24	4431	木ノ下中学校	教員住宅(A)	020	中学校	寄宿舎	木	1	50	1992	H4	28	新				長寿命	B	C	B	B	B	5	
25	4431	木ノ下中学校	教員住宅(B)	021	中学校	寄宿舎	木	1	50	1992	H4	28	新				長寿命	B	B	C	B	B	2	
26	4431	木ノ下中学校	教員住宅(C)	022	中学校	寄宿舎	木	1	50	1993	H5	27	新				長寿命	C	C	B	B	B	2	
27	4431	木ノ下中学校	教員住宅(D)	023	中学校	寄宿舎	木	1	50	1993	H5	27	新				長寿命	C	B	B	B	B		
28	K025	給食センター	給食センター	001	給食センター	給食センター	S	2	1,739	2017	H29	3	新				長寿命	A	B	A	A	A		

4. 施設整備の基本的な方針

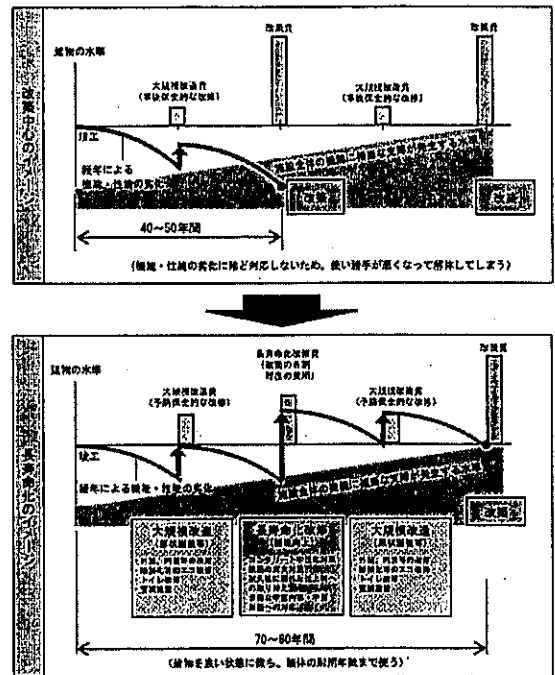
(1) 規模・配置の方針

施設維持コストの面から考えれば、小規模校の統廃合を検討していくべきところですが、本町においては、生徒児童数が大幅な減少にならない限り、施設の不足を招く恐れがあるため、当面の間は現状の規模を維持していくこととします。しかしながら、施設の老朽化に伴い、多くの施設が大規模改造や改築時期を迎える10年後あたりに本計画の見直しに合わせて、施設の規模・配置も見直す必要が出てくる可能性があります。

5. 長寿命化の方針とコスト

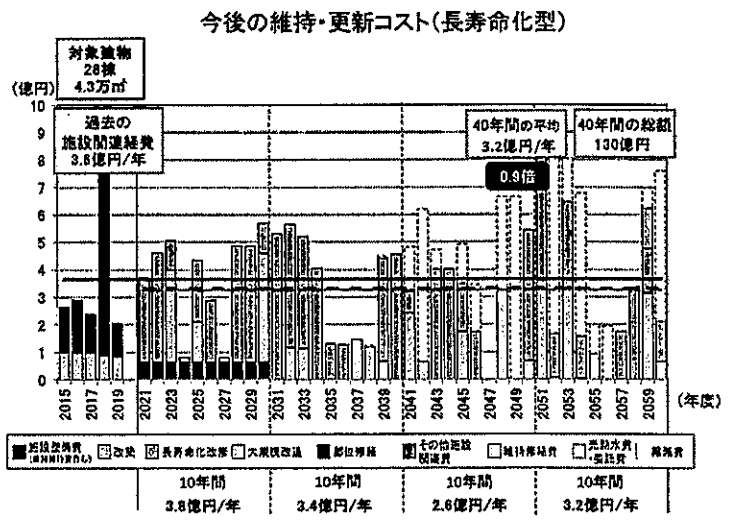
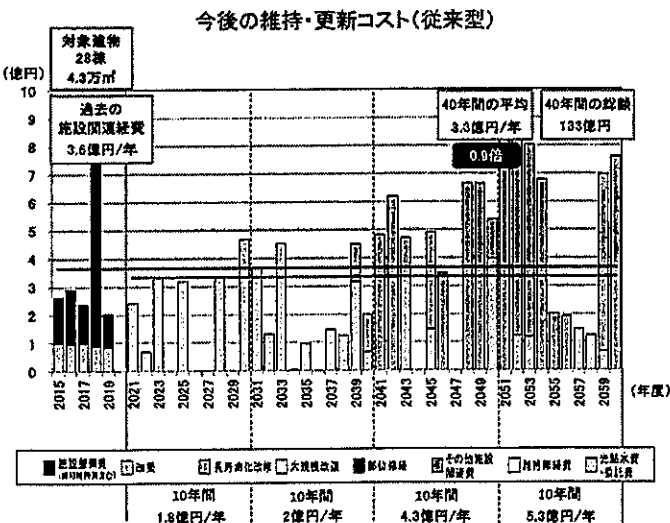
(1) 長寿命化の方針

建築物の耐用年数には、物理的耐用年数・経済的耐用年数・法定耐用年数・機能的耐用年数など、様々な考え方があります。一般的に耐用年数は、「物理的耐用年数> 経済的耐用年数> 法定耐用年数> 機能的耐用年数」となりますが、これまでの施設の寿命は、最短の機能的耐用年数に近かったのが現状です。しかし、今後、すべての公共施設等を機能的耐用年数を基準に建替えることは財政制約上困難であり、計画的に保全整備を行うことにより施設を長寿命化して供用期間を延ばし、最長の物理的耐用年数に出来る限り近づけることで、ライフサイクルコストを低減することを目指します。



(2) 施設経費の比較

最後に、長寿命化による維持・更新コストの見通しと効果を従来型のものと比較しました。計画期間におけるコスト総額は、従来型のコストが総額 133 億円 (年平均 3.3 億円) だったものに対して、長寿命化型では総額 130 億円 (年平均 3.2 億円) で 3 億円程度の減少が見込まれる試算となりました。これはあくまで、現施設を全て現状のまま維持した場合のコストであり、統廃合や集約化による施設数が減少すれば、更にこの費用も減少することとなり、長寿命化計画の効果がより大きくなります。いずれにしても、ここ 5 年間の施設整備費約 18 億円 (年平均 3.6 億円) と比較すると、年度によりややバラつきがあるものの、年平均では 3.2 億円とこれまでよりやや下がることが予想されます。



6. 実施計画

施設の長寿命化においては、劣化状況調査から得られた健全度を基に経過年数や屋上・屋根及び外壁のD評価またはC評価を優先的に考慮し、大規模改造と長寿命化改修を基本として実施計画検討に取り組むものとし、整備基準としては、長寿命化改修は構造躯体の健全性が確保される施設とし、中でも緊急性の高い建物を優先的に整備していくこととします。長寿命化改修にあたっては、必要に応じ構造躯体の健全性調査を行うものとし、ただし、建物の劣化状況や財政計画の状況によっては、改築が効果的な建物が生じる場合もあり、施設の整備事業計画を前提にしつつ、個別に検討・対応を行っていきます。また、部位修繕については緊急性を要する施設を優先的に整備していくこととします。

以下の表は、今後5か年の学校教育施設の整備計画です。

年度 事業名称	2021 (R3) 年度		2022 (R4) 年度		2023 (R5) 年度		2024 (R6) 年度		2025 (R7) 年度	
	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
新増築事業										
改築事業 (実施設計)	木ノ下中講堂 (実施設計)	84,642			木ノ下中講堂 (外構)	43,000	木ノ下中講堂 (建築)	630,000	木ノ下中講堂 (建築2年目)	
耐震化事業 (非構造部材の対策)										
長寿命化改修 (大規模改造)			木ノ下中教員住宅 (解体)	13,500						
防災関連事業										
トイレ整備	百石小・甲洋小・下田小 ・木内々小 (洋式化)	44,490								
空調整備	小中全校 (エアコン設置設計)	25,000	小学校(全) (エアコン設置設計)	125,000	中学校(全) (エアコン設置設計)	75,000				
障害児等対策										
特別支援学校の整備										
部位修繕										
その他施設整備費			小学校(全) (タビカ取替)	150,000	中学校(全) (タビカ取替)	90,000				
維持修繕費	修繕費	1,788	修繕費	1,788	修繕費	1,788	修繕費	1,788	修繕費	1,788
光熱水費・委託費	光熱水費 委託費	40,000 52,000	光熱水費 委託費	40,000 52,000	光熱水費 委託費	40,000 52,000	光熱水費 委託費	40,000 52,000	光熱水費 委託費	40,000 52,000
合計		247,920		392,288		301,788		723,788		93,788